



潟上市章

かたがみ
Katagami

市議会だより

第49号



夏を彩る花々（ブルーメッセあきた）

6月定例会

H29(2017)08.01

平成29年(2017年)

8月1日発行

- 6月定例会 …………… 2～5
- 一般質問 …………… 6～11
9氏が市の方針をただす
- 委員会報告 …………… 12～14
- 臨時議会・
全国市議会議長会表彰 …… 15
- 賛否一覧 …………… 16

14億9,727万1千円

・公営企業会計補正予算 を可決

6月定例会は、6月13日から27日までの15日間にわたり開催されました。
一般質問者9名、審議した議案は、報告案件2件、条例案1件、単行案1件、同意案件25件、一般会計補正予算、特別会計補正予算5件を原案どおり可決しました。

平成29年度 各会計補正予算

■ 6月定例会に計上された補正予算の主なもの

(単位：千円)

項 目	補 正 額
昭和出張所移転に伴う改修等工事	2,742
自治会活動推進費補助金（飯塚自治会館（仮称）備品購入）	2,500
防災・健康拠点施設整備工事	580,325
昭和こども園（仮称）整備工事	563,780
県営土地改良事業負担金（市ノ坪地区ため池等整備事業）	1,600
路網整備事業負担金（船橋線高能率生産団地路網整備事業）	2,000
設備投資及び用地取得助成金（フカイ工業株式会社：工場増設）	46,868
ブルーメッセあきた花売場屋根設置工事	5,951
道路改良工事（大豊小学校線改良工事 ほか）	138,844
天王B & G海洋センタープール改修工事	24,783
災害復旧費	3,000
水道 送水管布設工事（昭和地区新中継ポンプ場整備事業）	99,961

■ 補正後の各会計の予算額

(単位：千円)

会 計 名	補 正 額	補正後の予算額
一 般 会 計	1,497,271	15,135,271
国民健康保険事業特別会計	5,483	4,534,418
後期高齢者医療特別会計	△ 150	288,841
介護保険事業特別会計	1,239	3,961,869
下水道事業特別会計	1,209	1,221,342
水道事業会計	(収益的支出)	629,640
	(資本的支出)	340,303

2017年
6月定例会

6月13日～27日

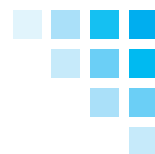
平成
29年度

一般会計補正予算
特別会計補正予算

報告案件

2件

- 平成28年度一般会計予算の繰越明許費繰越計算書
- 平成28年度下水道事業特別会計予算の繰越明許費繰越計算書

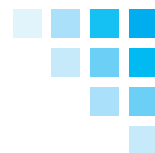


単行案

1件

- 工事請負契約の締結について
◆天王南中学校大規模改修工事

【契約者】 むつみ建設株式会社
【契約金額】 5億6,376万円
【落札比率】 94.96%
【工期】 平成30年2月26日



昭和こども園(仮称)整備事業費

減額修正案 否決

賛成 8

反対 11

議案第37号

平成29年度一般会計補正予算(第1号)(案)に対する修正動議

【発議者】 佐々木嘉一・小林 悟

【賛成者】 菅原 久和・戸田 俊樹

《修正動議》

幼保一体施設整備事業費及び昭和出張所移転関連経費を併せた計6億2,872万1千円を減額修正する。

《提案理由》

①旧昭和庁舎活用案は事業費の増額により財政メリットがなく再度の検討を要する。②3園の統合は、建設規模、位置、旧庁舎の活用等は比較検討の上進めるべき。③保育園の整備により昭和公民館の活用が制限される。

などの理由により旧昭和庁舎の保育園活用に関わる予算の減額修正を提案します。

反対討論

菅原理恵子

・待機児童解消には保育士人材の確保が重要で、保育士が働きやすい環境整備が必要である。

・空洞化を解消するため、早急に昭和庁舎利活用に向け動かなければならない。

賛成討論

伊藤 正吉

・当初説明の建築費から3倍近い7億円かかり、地域住民の賛同、理解が得られるとは思わない。

・昭和地区住民へ再度アンケート調査を行い、市長にとっても対話と交流を深めるべきと思う。

反対討論

西村 武

・市内の待機児童は19名いるが、この子どもたちに平等な行政サービスが必要と思う。

・保護者を対象のアンケートから、こども園という民意が出てくる。

・旧昭和庁舎は幼保一体と子育て支援の施設に大いに活用すべきだ。

6月定例会に提出された議案等

◆ 条例の改正 原案可決

- ・ 個人情報保護条例の一部を改正する条例

◆ 補正予算 全案可決

- ・ 一般会計補正予算（第1号）
- ・ 国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）
- ・ 後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
- ・ 介護保険事業特別会計補正予算（第1号）
- ・ 下水道事業特別会計補正予算（第1号）
- ・ 水道事業会計補正予算（第1号）

◆ 人事案件

● 固定資産評価審査委員会委員

菊地 福一郎氏 再任
（天王字上出戸）

● 教育委員会委員

鈴木 義也氏 再任
（昭和豊川槻木字荒屋）
 伊藤 正氏 新任
（飯田川下虻川字街道下）

佐藤 有加氏 新任
（天王字追分西）

● 監査委員

渡邊 晋二氏 再任
（飯田川飯塚字水神端）

● 農業委員会委員

● 個人推薦

菅原 良一氏 再任
（昭和久保字北野大崎道添）
 安田 又吉氏 再任
（天王字羽立）

● 法人・団体推薦

高橋 京子氏 再任
（昭和乱橋字宅地家後）
 佐藤 肇氏 再任
（天王字二田）
 鎌田 久氏 再任
（飯田川和田妹川字松ノ木）

三浦 俊也氏 新任
（天王大崎字野沢）

櫻庭 美知行氏 再任
（天王字江川）

伊藤 甚衛氏 再任
（昭和豊川上虻川字山岸）

佐々木 利光氏 再任
（昭和豊川船橋字深持）

館岡 美果子氏 再任
（昭和久保字北野藤曲小道添）

櫻庭 由秋氏 再任
（天王字塩口）

田仲 東氏 再任
（飯田川飯塚字樋ノ下）

佐藤 利喜雄氏 再任
（天王字天王）

鈴木 美喜雄氏 新任
（天王字松淵）

佐々木 美奈子氏 新任
（天王字御林下）

鈴木 爲彦氏 再任
（天王字羽立）

南都 武男氏 再任
（昭和豊川上虻川字新所）

鏡 正人氏 再任
（飯田川下虻川字街道上一本木）

菅原 権一郎氏 再任
（昭和久保字北野大崎道添）

応募
 青木 進氏 再任
（昭和久保字北野街道下）

選挙管理委員及び補充員

● 選挙管理委員

柏崎 重嗣氏 再任
（天王字ハラハ）

菅原 徳志氏 再任
（昭和久保字北野大崎道添）

三浦 一秋氏 新任
（飯田川下虻川字街道下）

三浦 美咲氏 新任
（天王字追分）

● 選挙管理委員補充員

安田 次男氏 再任
（天王字上江川）

南都 武男氏 再任
（昭和豊川上虻川字新所）

二田 京子氏 再任
（飯田川飯塚字飯塚）

伊藤 昭光氏 再任
（天王字上江川）

男鹿地区衛生処理一部事務組合議会議員

佐藤 敏雄 議員

◆ 陳 情 採 択

・ 教職員定数改善と義務教育費国庫負担割合2分の1復元をはかるための、2018年度政府予算に係る意見書採択の陳情について

・ 日本政府が核兵器禁止条約の交渉会議に参加し禁止条約の実現に努力することを求める意見書についての陳情

◆ 陳 情 不 採 択

・ 共謀罪（テロ等組織犯罪準備罪）法案の国会提出に反対する陳情
・ 天王地区に市営スーパー建設を求める陳情書



予算特別委員会

6月定例会において、予算特別委員会が設置され、全議員で予算関連の議案等を審査しました。6月19日は大綱質疑を行い、次の点について質問があり、当局からそれぞれ回答がありました。

・ 総務管理費の工事監理委託料1,376万円と児童福祉費の工事監理委託料798万6千円の計上があるが、金額の違いは。

・ 土木費の工事請負費について、工事の進捗状況やこの工事でどこまでやるのか。

・ 防災・健康拠点施設整備事業について、管理運営する場合の設置条例骨子案の検討は。

・ 防災・健康拠点施設整備事業のプロジェクトチームを編成する際、市からどのような職員が入っていたのか。

・ 防災・健康拠点施設整備事業に補償補填及び賠償金の予算計上があるが、この内容は。

・ 防災・健康拠点施設を利用する市民について、どの年代をターゲットに使用人数を算出したのか。

・ 防災・健康拠点施設の使用料と減免措置をどのようにしていくのか。

・ 健康寿命が伸びて市民の医療負担が少なくなると、国保の負担金などのくらい減っていく予想なのか。

・ 防災・健康拠点施設の各種教室に通う際、マイクロボスなど送迎の考えはあるのか。

・ 防災・健康拠点施設にはリハビリセンターでも建てるのか。

・ 農林水産事業費の「地域で学べ農業の技術研修費補助金」について、その目的と狙いは。

・ 商工費の「潟上天王ふぐ販売促進協議会（仮称）補助金」について、協議内容と今までの経緯、将来の展望等は。

・ 新規就農を希望された場合の流れやフォローはどうなっているのか。

・ 国保会計の補正について、人員を増員して収納率の対策をするのか。

・ 市町村の財政状況について財力があるときみなされた場合、市民の国保税の負担が所得割と世帯割しかないが、不利な取り扱いになるのかならないのか、その見通しは。

・ 水道事業の補正で起債があるが、その事業内容は。

また、6月27日には各分科会で詳細審査した議案等についてそれぞれ分科会委員長より報告があり、質疑・討論・採決の結果、すべて原案のとおり可決すべきものと決し、特別委員会の審査を終了しました。

放課後子ども総合プラン について



菅原理恵子
議員

質問 市町村行動計画の策定状況については。

答弁 「行動計画策定指針」においては、子ども・子育て支援法第61条の規定により、「市町村子ども・子育て支援事業計画」と一体のものとして策定して差し支えないことになり、本市では平成27年3月に「潟上市子ども・子育て支援事業計画」が、位置づけとされています。

質問 一体型「放課後子ども総合プラン」の取組みについては。

答弁 昭和中央地区（レイクプラザ昭和）において放課後元気塾を行っているっており、大久保児童クラブの

児童も参加して、連携・協力しながら活動しています。各小学校の放課後子ども教室と、放課後児童クラブの一体的な運営は、今後検討します。

また、放課後児童クラブの申請書は、各児童クラブで随時配布。毎年11月の広報でお知らせし、次年度の児童クラブの申し込みを随時受け付けています。

「運転経歴証明書」等については。

質問 有効期限の残っている運転免許証を自主返納し、交付申請を行うことにより「運転経歴証明書」が発行される。その際の発行手数料の補助をしたり、交通機関の割引等の特典についての考えは。

答弁 本市の75歳以上免許保有者は、3人に1人に当たる1,638人が免許証を保有。平成28年以降、85人の方が自主返納していま

に対する支援の充実等で若い方々が移住、定住するような施策等も必要と思うが、ご所見は。

答弁 企業誘致につきましても、県企業立地事務所職員を派遣し、企業情報の収集や継続的な企業訪問など地道に行っています。又子育て世代への支援として高校生通学費助成制度を創設し、高等学校や高等専門学校などへの通学費について助成し、子育て世代へ

すが、全国の自治体で展開しているサービスを参考にしながら、マイトウンバスの割引、あるいは無料化やデマンド型乗合タクシーの割引などを含め、自主返納者への負担軽減を図る施策を検討します。

JGAP取得の取組みについて

質問 GAPを開発・普及し、消費者にも安全な農産物を供給することを目的としたGAP認証にむけた助成については。

答弁 日本の農産物・食品は「安全・安心」と言われているが、国内外で競争が激しくなる中、より良い品質向上のため、国ではGAP、JAS等の活用を推進。このようなことから、JAや農業法人など農業生産者へのJGAPについては、審査料、基準項目等がほかの認証よりハードルが高いため、県やJAのGAPから実施し、

の一環として、観光客の受け入れ環境整備が課題で、観光協会や市内関係機関との連携をはじめ、近隣市町村との広域連携による誘客促進に努めます。

質問 少子高齢化等で遊休農地が増加傾向で現状打開のためにも新規就農者を求める対応策や、若年農業者を育成するための支援策等が必要と思うが、ご所見は。

段階的にJGAPへ移行していただければと考えています。今後も社会・経済状況や農産物の生産状況を見据え、JGAP制度を十分理解していただくため行政と各関係機関が継続的に連携周知を図っていきます。

答弁 農業生産振興を中心に6次産業化の推進については関係機関とも連携し、新たなビジネスには1農家ではなかなかできないことでも、食料館くらら内にある加工施設等を利用し、グループなど集団でよい知恵から始まりヒット商品が生まれるものと感じているところで、今後も農業生産振興を中心に6次産業化を支援します。



JGAPの啓発チラシ

藤原新市長の について



西村 武
議員

質問 未来を担う産業人材の育成も必要不可欠であり、取り組みとしてのご所見は。

市長の市政に関わる 基本姿勢について



佐々木嘉一
議員

地方創生と 政治姿勢

【答弁】 地方創生において産業人材は、重要な要素の一つであると認識しています。起業家や技術者の研修、育成を促進するなど、若い世代に対する幅広い支援を今後検討します。

【質問】 市も例外でなく年々人口が減少傾向にあり、現状に歯止めをかける対策として企業誘致や子育て支援の充実として、小中学生の教育の充実、子育て世代の労働者

の経済的支援も行っており、市への移住、定住に密接にかかわりがあると考えて、引き続き充実に向け努力します。

【質問】 市の人口交流を図るため観光客受け入れの方策等が必要と思うが、市には大きな観光の場も少なく、他市町村と連携し広域観光の取り組みを促進するための所見は。
【答弁】 交流人口増大のための施策

【答弁】 新規就農者確保、育成などの支援策の一つとして青年就農給付金事業を行っております。平成29年度は10人の予定となっております。就農直後の経営を支援するもので、今後とも、県の後継者支援事業を活用し、新規就農者等に対するサポートを継続します。

【質問】 6次産業化を推進し、農家所得の拡大や新たなビジネスの創出を図るための所見は。

私の基本姿勢はすべての市民との「対話」と「交流」を重ねることにより、市民の意見、議員の意見を潟上の力として結集したものが「チーム潟上」の実現につながっていくものと考えています。

【質問】 市長は選挙期間中に見直しに言及されたと同っているが、事務所に特化した旧昭和庁舎を保育園として利用することの考えは。また、メリットとして予定事業費2億4千万円が実施設計額5億5,800万円となった。見直しすべきと思うがどうか。

昭和庁舎も園について

【質問】 「チーム潟上」は市政推進のスローガンか、マニフェストか。
【答弁】 「チーム潟上」は選挙時に掲げたスローガンです。

チーム潟上について

【質問】 実施設計の発注により、2億4千万円は概算工事費として発注し、設計業者と協議して進めてきました。財政上のメリットはないが、天井高を変更し、オープンスペースを間仕切り、冷温水発生器などを改修することで再利用が

できるといふ利点があります。

【質問】 保育園単独建築の場合、6億円、或いは8億円といわれるが建設位置はどこか。中央保育園は検討されたか。問題点は何か。その他検討したか。

【答弁】 概算工事費、6億円、8億円は中央保育園やその他候補地を



移転する昭和中央保育園



食堂館くらら

限定して検討したものではありません。ただ、中央保育園は、開園しての整備は、駐車場を含めた敷地が十分ではないこと。大豊小敷地同様軟弱地盤のため、地盤改良工事が予想されたこと。その他は検討しませんでした。

【質問】 旧昭和庁舎は、近隣商業区域に隣接することについてはどうか。

【答弁】 建設地は、第二種住居専用地域で保育園は建築可能であります。

【質問】 待機児童解消が旧庁舎活用効果としているが、100%解消するののか。

【答弁】 本市の待機児童は4月1日現在19人です。(昭和地区4人)昭和地区三園統合により計算上は可能です。施設の利用は保護者の意向もあり100%の解消は想定されません。

観光拠点の整備と政教分離について



佐藤 義久
議員

質問 集客で一番を目指すべき。観桜会の景観を誇れる元木山公園、秋田三十景の「飯田川南公園

ふたあらの丘」屈指の北公園。佐竹公が国替えの際に狩りが好きとの情報で造ったと聞く「鷹待ち小屋」三笠宮殿下の御展望の地。こども見事な景観に心打たれる。さらには、石川理紀之助翁遺跡、油田関係の貴重な遺産が朽ち果てる状況に心痛めている、株山の豊川稲荷も住民有志が参道など草刈りしている状況だがいかがか。

答弁 観光拠点整備は「道の駅」を中心に整備を努めてきました。PRについてもパンフレットやビデオで内外に発信、ポケットパー

クは現在考えていません。「鷹待ち小屋」は個人所有の土地で、市が整備することは、困難。善意で年1〜2回の草刈りが現状です。豊川稲荷神社についても市が手を入れることは制約が出てきます。地域財産の保全活動に関して住民有志がボランティアでの参道整備等には改めて敬意と感謝を申し上げます。

質問 元木山には、三吉神社が在り、個人用地一帯は管理委託されておらず、業者の好意で草刈りをしている程度。昨年から地区コミュニティ会長さんらが「八郎まつり実行委員会」に呼応、管理に立ち上がっている。さらに朽ち果てた遊歩道の整備を申し出たとも伺っている。周辺は間伐の必要があり、下に降りると水芭蕉の群生や「野草」が辛うじて「乳母姫神社」の周辺に生息していたとも聞いている。この点についていかがか。



元木山公園の剪定作業の様子

答弁 景観上の観点から草刈りは、元木山一帯として考えており、今後も委託業者と市直営で対応して参りますが、遊歩道については過去に田屋町内から整備要望がありました。多額の工事費が掛かることから市全体の公園施設を運営管理していく上で、整備着手は難しいと回答しています。今後、有効な解決策を検討します。

質問 政教分離とは国家と宗教とを分けるもので、宗教団体に補助金などのことを問題としていると

ころであると理解している。地域の催事・市政との関わりは。

答弁 潟上市文化財保護条例では、文化財への補助について定めています。対象となる文化財の中には、信仰の対象となる仏像や施設等も含まれる場合も、保護の観点も含め、潟上市では地域の催事と市政のかかわりは、個別に判断しています。

敬仁会との契約のその後について

質問 敬仁会との契約締結の進捗状況は。

答弁 平成29年2月1日付けで売買契約締結、代金納付は3月31日で移転登記は5月15日完了との通知を受けております。価格は総額2,955万円です。

質問 病院用地については。

答弁 今回は、庁舎用地のみの売却です。

姿勢について



伊藤 正吉
議員

質問 議会基本条例に基づき、市長との議論をより一層活性化させ、市政の活性化に向け、お互い

創るしあわせ実感都市」を目指します。

質問 公正で公平な市政運営については。

答弁 公正・公平を旨としてというの、行政官、それから行政に携わる者としてはこのことを肝に命じて仕事をしなければならぬものと感じていきます。

査、分析を受けて、新たな支援や支援の拡充については。

答弁 ①今年の3月に「潟上市子どもの貧困対策整備計画」の策定にあたり、全庁的な取り組みとして、より実効性のある計画としています。計画には、教育の支援、生活の支援、保護者に対する就労の支援、経済的支援の4つの基本方針と施策の体系を掲げ、基本方針ごとに各課の支援体制を整備し

高齢者の貧困について

質問 高齢者の貧困も年々増加の傾向にある。収入が著しく少ない、十分な貯蓄がない、頼れる人間がないなど。また原因についても様々です。今後高齢者の貧困についての調査やどのような対策を考えているのか。

答弁 地区の民生委員が、訪問を

今後のまちづくりについての市長の基本的な方針について

市長の政治

の任務遂行とチェックアンドバランスを発揮できるよう、市長の政治姿勢と新たな決意と政策については。

【答弁】 私の市政運営における基本姿勢は、「対話」と「交流」であります。具体的な政策は、教育の充実、これは待機児童の解消、健康寿命の延伸、農業の6次産業化を定着させ、10次産業化を目指す。若者たちの起業の支援、企業誘致、八郎湖の環境保全等で、「みんなで



小林 悟
議員

【質問】 今回の選挙を通して「さまざまな課題」が見えてきたということだが、具体的には。

【答弁】 待機児童の解消というものが最大の課題だと考えています。県に確認したところ、4月1日現在の市の待機児童数は19名。全県では県北の市で19名の市が1市、それ以外で県北に3名の市があるだけです。そのため、喫緊かつ重要な課題です。

次は、健康寿命の延伸ということですが、生活習慣上課題がある方が多々見受けられます。この際、防災・健康拠点施設を八郎瀧ハイ

子どもの貧困について

【質問】 ①貧困の連鎖を防ぐ環境整備を進めていくために、全庁的な取り組みが必要と考えるが、見解と具体的な連携の内容は。

②地域や民間団体等との連携体制をどのように構築し、効果的な支援策は。

③ひとり親家庭に対する現状の支援内容は。また、支援二ーズの調

ています。

②子どもの発達、成長段階に応じた切れ目のない「つなぎ」教育と福祉の「つなぎ」、関係行政機関、企業やNPO、自治会その他の関係者間の「つなぎ」の3つの「つなぎ」で効果的な支援を行っていきます。

③ひとり親への支援として、児童手当、児童扶養手当、福祉医療費の助成、福祉資金の貸付事業などを実施しています。

つ跡地に整備し、この健康寿命の延伸のそういった運動の拠点施設としたいと考えます。

【質問】 「対話」と「交流」から「チーム潟上」を築き上げるとは。

【答弁】 「対話」と「交流」は、私の市長としての行政運営をしていく上での基本姿勢であります。

「対話」と「交流」を活発させることが諸課題の解決につながると固く信じております。「チーム潟上」とは潟上市の力を結集したもので「対話」と「交流」を繰り返して、市の一体感をさまざまなジャンルの中で作り上げていくことであります。

旧昭和庁舎の利活用について

【質問】 当初示された事業費よりも莫大に増えることが示された。実際は、2億4千万円から7億円弱。

このことは、もう一度考え直すところにきているのではないかと。6月定例会に事業費を補正予算計上したことは正しいと判断したことであっても、順序をしっかりと認識し、地域に対し真摯に対応していかねば地域の理解を得ることとは難しいのではないかと。

【答弁】 金額の開きというのは、あの設備の充実、例えば2階フロアの問題であったり、床暖房の問題であったり、いわゆる保育施設、こども園としての施設をできるかぎりのものを尽くしてやった結果、実際詳しくだしてみたらあのくらいの金額になってしまったということなんです。それがわかった段階で、議員の皆様にはお知らせすべきであったろうし、結果論ですが説明を当局としてはしていかなくてはなりません。

潟上市社会福祉協議会「昭和センター」の本所移転について

【質問】 地域住民に対する窓口サービスが遠くなることにどのように対処していくのか。

【答弁】 市として今後窓口サービスをどのようにするのかについては明確に話を伺ったことはありませんが、今後必要に応じ協議したいと考えています。また、昭和センターの存続に向けては、今後社会福祉協議会と協議を進めたいと思っております。



社会福祉協議会 昭和センター

潟上市議会議員の定数削減について



鈴木 壮二
議員

質問 潟上市における議員定数の適正規模について、「減少を続ける市内人口」、「厳しさを増す財政状況」に鑑み、潟上市議会議員の定数削減について、当局の考えは。

答弁 定例会初日に議会改革推進会議から報告がありましたように、現在、潟上市議会基本条例第19条に従い、協議が進められている状況にありますので、その動き

を静観したいと考えています。

質問 議会基本条例第19条にあるとおり、人口、面積、財政力、類似団体の状況等を比較し、明確な理由を付して提案することある。人口段階別で見た場合、5万人未満の議員定数の平均が17・9人、平均面積では、297・09km²と潟上市の3倍となっているが。

答弁 人口、面積の数値等々ありましたが、2項にありますとおり、人口、面積、財政力及び市の事業課題を総合的に考慮して議員各位において、協議されるものと考えています。

観光産業の推進について

質問 観光産業の振興による地方活性化は、地方創生の一つとして期待が寄せられているが、農林漁業の10次産業化（パイロット）事業の実施、観光資源のネットワーク化の促進等、どのように推進していくのか。

答弁 前段階として、まだまだ脆弱と言われる6次産業化の基盤、環境を強固なものにしたいと考えます。この一環として、地場産品のブランド化を目指す動きもあり、これらに対する支援策を通じて将来的に10次産業化の可能性もあることを見据えながら、足元の

環境構築に努めます。

質問 他市町村と連携してのICTの活用や公共ビッグデータの活用は。

答弁 観光庁において、各分野のICT、公共ビッグデータの活用による訪日外国人旅行者受入業等の観光政策を推進していますので、本市の環境に適合する政策が示された場合には検討したいと考えています。



課題と要望事項について



藤原 典男
議員

質問 市民を主役とした「潟上市民であることを誇れるまちづくり」も第2次総合計画へと移行しているが、課題遂行のために県・国に何を要望するか。

上・腐敗・悪臭対策、湖岸の草刈り・雑木の刈払いなどです。第2次総合計画での基本は「自然と共生する」では八郎湖の水質保全対策、「健やかに暮らす健康福祉都市」では健康づくりの推進、健康寿命の延伸、「活力あふれる田園拠点都市」では、農林水産業、商工業の振興、観光の振興では農林水産業の10次産業化や観光ネットワーク化です。「次代の人が育つ生涯学習都市」では子ども・子育て支援、待機児童対策、生涯スポ

し、緊急に解決すべきことは何かについては市民や議会の皆様と協議し決めていきたいと考えています。

質問 秋田県は自殺率が高いが、本市での自殺予防の取り組み、対策は。

答弁 本市では合併した平成17年は17人、平成22年は10人、平成27年は9人と減少傾向にあります。

自殺予防対策について

後期高齢者医療制度と人間ドックについて

上市自殺対策計画」を策定し自殺者ゼロを目指した取り組みを推進していきます。

質問 県内では人間ドックへの補助を行っている自治体もあるが、本市も検討すべきでは。

答弁 本県では、後期高齢者に対する人間ドックの助成事業は、6市3町1村の合計10自治体が行つ

市長の政治姿勢について



佐藤 敏雄
議員

質問 市長の持論とする市民との「対話」と「交流」について、具体的方法は。

答弁 手法のひとつとして議員が市民と直接話し合う懇談会等を主催された際は私と、ないしは職員も同席させていただきたいと思えます。今後も折をみて機会の創出に努めるとともに、提言のありましたIT、インターネット、ホームページを通じた「対話」と「交流」も検討します。

質問 トップセールスを目指す「チーム潟上」の観点から間違い

本市の 県・国への

答弁 実行にあたり市民が主体になって取り組みますが、自治体が広域的に取り組んでいかなければ解決できない課題も多数あります。市長会を通じて国へは「地方財政基盤の充実強化」があります。県へは豊川護岸堤防の嵩上げ及び浚渫、豊川堤防の雑木撤去、八郎湖で発生したアオコの住宅への遡



第2次潟上市総合計画

りつ、芸術活動の充実強化などですが、その中で重点的課題を何に

なく一番になれる具体的な市長のビジョンについては。

答弁 一番とは、言葉を変えれば、地域潟上市に誇りを持つこと、市の可能性を信じることで、それをきちんと子どもたちに伝えることにほかなりません。私はそのような街づくりを進めたいと考えます。既に本市が先駆的に実施をしている「不妊治療費助成事業」や高校生への「通学費助成事業」のような施策等の立案を今後も検討します。その際は本市の若手職員の斬新なアイデア等も取り入れる工夫もしてみたいと考えます。

学校給食の無償化について

質問 経済的に困窮している家庭はもとより、若い世代の定住や転入に大いに期待が持てることから

この要因は行政や市自殺対策予防連絡会、民間組織による取り組みの成果と考えています。平成28年度は「こころの健康づくり講演会」や「メンタルヘルスサポーター養成講座」などを実施し、「こころの健康づくり」と地域の「見守り活動や相談活動」を推進してまいります。本市では平成30年度に、「潟

も県内の市に先駆けて無償化の施策に取り組んでどうか。

答弁 潟上市の市税収入の約5%を占める1億2,800万円という大きな割合の経費であります。これを実施するにあたっては相当地な準備が必要です。やはり国自らが親の教育費の負担をどうするか十分に検討され、また我が市とし



学校給食の様子

ています。補助額についてはそれぞれ市町村で補助要綱を策定して実施しており、課題である医療機関の受け入れなど関係機関とよく協議し個人的に受診された方の助成については検討します。

でも独自に学校給食費の問題をはじめ教育費の親の負担ということも含めて検討します。

子どもを取り巻く教育福祉環境について

質問 子どもを取り巻く環境に着目し、専門職として重要視されているスクールソーシャルワーカーの当市の実態は。

答弁 秋田県総合教育センターから本市が所管する小中学校に関わっていた、だいている状況です。成果として学校外の相談機関と連携を図り、児童生徒の問題行動等、人間関係や家庭環境に配慮しながら問題解決にあたっております。今後、本市へのスクールソーシャルワーカー配置、導入につきましては、国や県の動向を注視し検討します。

総務文教

市はどう答えたか

委員長 堀井 克見
副委員長 佐藤 義久
委員 戸田 俊樹
委員 鈴木 壮二
委員 児玉 春雄
委員 伊藤 正吉
委員 藤原 幸雄

●個人情報保護条例の一部を改正する条例

問 情報提供者は、どのような方を指すのか。一般人か。

答 情報連携は国・各自治体及び関係機関で情報をやり取りすることになるので、それらを指します。一般人ではありません。

●一般会計補正予算(第1号)

問 防災、健康拠点施設(旧ハイツ跡地)において、これまで市で行われていた介護予防教室等の事業は行われるのか。指定管理者が主体となっていくのか。

答 実施主体については、現在検討中ですが、市で今まで行ってきた教室は市で主催するということもあり、指定管理者に委託事業としてお願いする部分も出てくる。そのすみ分けについては検討中です。

問 作業療法士、理学療法士等が含まれているが、常時置くのか。

答 トレーニング指導を併せて実施するために試算したものであり、今のところは最大限の事業を行った場合の人員費として試算しています。

問 運営方法について、このあと議会と協議するのか。

答 12月議会で設置条例の上程を検討しています。その前に全員協議会等で議員の意見を伺いながら進めます。

問 全県25市町村に2億円を配るといふ県の事業に乗った結果、解体費用1億3千万円、建築費用7億円を

かけて、指定管理するかもわからないで、この事業を進めるのは、計画段階で無理がある。いったん立ち止まって考えてみる必要があるのではないか。

答 ハードルが高い中、ようやく事業を認めてもらいました。基本的には指定管理者で進めて行くことになり、試算では年間コストが約3千万円かかりますが、いくらでも縮減できるようにしたい。またそれが可能となるような業者を選定していきたい。

●昭和こども園(仮称)整備工事費について

問 待機児童19名の内訳は。

答 二田保育園4名、湖岸保育園2名、追分保育園2名、出戸こども園5名、昭和中央保育園2名、昭和西保育園2名、若竹幼児教育センター2名の合計19名で、0才児と1才児となっています。

問 新規に建築した場合、こども園としての位の規模が必要なのか。

答 基準面積は、「秋田県幼保連携型認定こども園の学

級の編成、職員、設備及び運営に関する基準を定める条例」に基づき計算し、これを今回の定員で計算すると合計で保育に必要な面積は903・15㎡を越えなければならぬものです。このほか、基準面積が示されていない、職員室、保健室、調理室、水飲み場、足洗い場を設けることとなります。



昭和こども園に改修予定の昭和出張所

社会厚生

市はどう答えたか

委員長	西村 武
副委員長	藤原 典男
委員	佐々木 嘉一
委員	千田 正英
委員	大谷 貞廣
委員	菅原 久和

● 一般会計補正予算 (第1号)

問 昭和出張所の介護予防センターへの移転について住民に説明がされていないので、説明すべきだと思う。

答 昭和出張所の介護予防センターへの移転時には、事前に住民へ十分な周知を行います。

● 国民健康保険事業特別会計補正予算 (第1号)

問 人件費増額の理由は。

答 国民健康保険税の適正な課税のため、国保税担当者1名増員に伴うものです。

● 介護保険事業特別会計補正予算 (第1号)

問 社会福祉士、敬仁会からの職員派遣と、職員採用の経緯について。

答 認知症総合支援事業実施にあたり、地域包括支援センターに社会福祉士が配置されていなかったことから、社会福祉法人敬仁会に在籍している社会福祉士を平成26年から派遣していたりましたが、期間終了のため資格を持った人を職員として採用したものです。



地域包括支援センター

産業建設

市はどう答えたか

委員長 小林 悟
 副委員長 菅原理恵子
 委員 鑑 仁志
 委員 澤井昭二郎
 委員 伊藤 榮悦
 委員 佐藤 敏雄
 委員 鈴木斌次郎

● 一般会計補正予算 (第1号)

問 青年就農給付金事業の名称変更については。

答 今年度から農業次世代人材投資資金に名称が変更され、事業内容はほとんど変わっていません。

問 地域で学べ農業技術研修事業については。



りんごの摘果作業

答 この事業は、県が行っている新規就農総合対策事業の一つで、本市では今回初めて活用される事業で、昭和地久保の果樹園で、7月から研修を行う予定です。

問 県営土地改良事業については。

答 昭和地域、山田地区の

市のため池で、老朽化が著しく排水能力が不足し、洪水時には越流する恐れがあり、堤防一帯の工事と侵食防止が主な工事内容です。今回、初年度で、今年度中に土質調査、測量を行い反映させ、実施設計、工法等が検討されます。

問 潟上天王ふぐ販売促進協議会(仮称)については。

答 漁協、市商工会、市観光協会、行政、ふぐ料理提供店等、十数名のメンバーになる予定です。今後、PR方法やイベント開催など自分たちで必要な事業を考えてもらい、必要に応じて行政がバックアップできる体制を取りたいと考えています。

● 水道事業会計補正予算(第1号)

問 新中継ポンプ場整備事業については。

答 現在稼働している町後ポンプ場が、昭和29年建設で老朽化が著しく用地も手狭になったことから新たに用地を確保し、非常用電源装置を備えたポンプ場を整備するもので、新たな場所は乱橋地区を予定しています。

問 JR推進工事設計業務委託については。

答 通常、設計は専門の業者に委託。JRの用地についてはJR側と検討の結果、JR自ら設計、工事を実施。設計委託料は当初予算2千万円を超えていましたが、JRで精査した結果減額となりました。

問 新水源地揚水試験の結果は。

答 冬期試験では、水質・水量ともに要件を満たしていました。今回は夏の渇水時期にあたる7月から8月に揚水試験を実施予定です。

第1回臨時議会

4月28日開催

全国市議会議長会表彰

6月定例会において、全国市議会議長会 第93回定期総会で永年勤続議員として表彰を受けられた6名に対し、本会議場で藤原議長より伝達が行われました。(町議会議員の勤続年数は2分の1換算です。)

永年勤続20年以上



千田 正英 議員



佐藤 義久 議員

永年勤続15年以上



伊藤 榮悦 議員



戸田 俊樹 議員



児玉 春雄 議員



菅原 久和 議員

全国市議会議長会評議員感謝状

伊藤 榮悦 議員

伊藤榮悦議員が全国市議会議長会評議員を務められたことにより、全国市議会議長会から感謝状が送られました。

第1回臨時議会が4月28日に開催され、専決処分3件、同意案件1件を承認・同意しました。

また、補欠選挙で当選した2名の常任委員会委員の選任と、伊藤榮悦議長の辞職に伴う議長選挙が行われ、選挙の結果、藤原幸雄議員が新議長に当選しました。

承認案件

◆専決処分の承認について

(平成28年度一般会計補正予算(第11号))
補正予算の総額は1億1,620万5千円の追加で、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ169億1,097万6千円とするものです。
(市税条例の一部を改正する条例)
(国民健康保険税条例の一部を改正する条例)

同意案件

◆固定資産評価審査委員会の補欠の委員の選任

鈴木 義也 氏 **新任**
(昭和豊川槻木字荒屋)

常任委員会委員の選任

総務文教常任委員会委員に鈴木壮二委員、産業建設常任委員会委員に佐藤敏雄委員を選任しました。

議長辞職の件

伊藤榮悦議長から、一身上の都合により議長辞職願が提出された件について、全会一致で許可されました。

議長の選挙

伊藤榮悦議長の辞職に伴い議長選挙が行われました。投票の結果、藤原幸雄議員7票、堀井克見議員4票、戸田俊樹議員4票、小林悟議員3票、無効投票2票となり、藤原幸雄議員が新議長に当選しました。

平成29年

6月定例会各議員の賛否一覧(全会一致を除く)

(〔○〕：賛成、〔×〕：反対、〔欠〕：欠席、〔議〕：議長)

会派名	議案等		(注)第1回臨時会 承認第5号	議案第37号に 対する 修正動議	議案 第37号 (原案)	陳情 第2号
	氏名					
新生クラブ	代表	小林 悟	○	○	○	×
		伊藤 正吉	○	○	○	×
		千田 正英	○	×	○	×
		伊藤 榮悦	○	○	○	×
政友平成会	代表	大谷 貞廣	○	×	○	×
		児玉 春雄	○	×	○	×
		澤井 昭二郎	○	×	○	×
改革クラブ	代表	佐々木 嘉一	○	○	×	×
	副代表	戸田 俊樹	○	○	×	×
		鈴木 斌次郎	○	○	×	×
		菅原 久和	○	○	×	×
同志会	代表	西村 武	○	×	○	×
	幹事長	鏡 仁志	○	×	○	×
		佐藤 敏雄	○	×	○	×
		鈴木 壮二	○	×	○	×
会派に属さない	日本共産党	藤原 典男	×	×	○	○
	公明党	菅原 理恵子	○	×	○	×
	生新会	堀井 克見	○	×	○	×
	新星だるま会	佐藤 義久	○	○	○	×
	議長	藤原 幸雄	議	議	議	議
結果			承認	否決	原案可決	不採択

- ※承認第5号 市税条例の一部を改正する条例(注：H29.4.28第1回臨時会)
- 議案第37号 平成29年度一般会計補正予算(第1号)
- 陳情第2号 共謀罪(テロ等組織犯罪準備罪)法案の国会提出に反対する陳情



編集後記



市長が市政運営の基本理念「参画」と「協働」を踏襲、第2次潟上市総合計画に基づいた諸施策は市民・市議会・行政の「チームかたがみ」で推進、幸せを実感できるまちを目指し、基本姿勢は対話と交流をベースとすると所信表明されました。

市議会が市民の信頼に応えるために議会の規範と位置づけ平成25年10月に議会基本条例を制定し施行。

2つの代表機関は独立対等であるが合議制の議会を逸脱してはならない。

議員は議会が言論の府であること十分に認識し、論点は的確・簡潔・明瞭かつ公正・誠実に職務を遂行せねばならないとされており、条例の理念と意義を改めて再確認をしたところです。(大谷貞廣記)

市議会の傍聴へお越しく下さい

潟上市議会では定例会・臨時会を傍聴することができます。日程等の詳細につきましては、市ホームページをご覧ください。